

2018/1~2018/3

# にっしん景況レポート

Vol.

8

2018/4



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、平成30年1~3月の景気の現状と平成30年4~6月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

## 〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 平成30年1~3月の実績(3月については予想)  
平成30年4~6月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の358社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。  
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。  
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 平成30年1~3月  
前期 = 平成29年10~12月  
前年同期 = 平成29年1~3月  
来期 = 平成30年4~6月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	152	49	22	18	24	19	20
三木地区	52	17	10	5	7	9	4
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	358	90	56	40	71	54	47

## ● 今期の景況

今期(平成30年1月～3月)の全業種における業況判断D.I.は10.6となり、前期実績と比して1.5ポイント低下した。売上額判断D.I.は7.8となり、前期実績と比して15.6ポイントの低下、収益判断D.I.は▲1.1となり、前期実績と比して18.6ポイント低下した。

売上額判断D.I.の前年同期比は15.4、収益判断D.I.の前年同期比は9.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲41.9となり、前期実績よりも0.4ポイント改善したものの、調査開始の平成28年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し

来期(平成30年4月～6月)の予想業況判断D.I.は11.2と今期実績10.6から0.6ポイント改善する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は10.1、予想収益判断D.I.は3.1となり、いずれも今期実績から改善する見通しとなっている。

### 〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	18	89	182	59	10	358
回答割合	5.0%	24.9%	50.8%	16.5%	2.8%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 29.888\% - 19.274\% \div 10.6$$

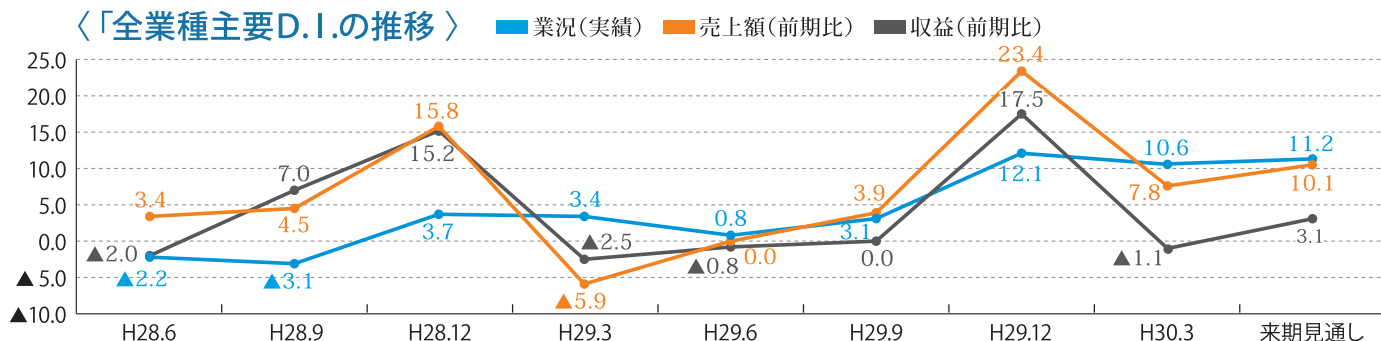
### 〈平成30年1～3月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	10.5	26.5	▲4.5	▲16.7	▲8.3	15.8	30.0
三木地区	7.7	11.8	0.0	▲20.0	14.3	11.1	25.0
神戸地区	11.7	25.0	▲8.3	▲5.9	12.5	34.6	4.3
全地区	10.6	23.3	▲5.4	▲12.5	5.6	24.1	17.0

### 〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	12.1	10.6	11.2	販売価格(前期比)	15.0	9.6	10.4
売上額(前期比)	23.4	7.8	10.1	仕入価格(前期比)	33.7	31.6	27.4
売上額(前年同期比)	15.5	15.4	—	資金繰り(楽一苦)	4.2	▲1.1	▲0.8
収益(前期比)	17.5	▲1.1	3.1	人手不足(過剰一不足)	▲42.3	▲41.9	▲40.8
収益(前年同期比)	11.8	9.2	—				

### 〈「全業種主要D.I.の推移」〉



## ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は23.3となり、前期実績と比して2.3ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は14.4、収益判断D.I.は▲2.2となり、前期実績と比してそれぞれ13.4ポイント、25.5ポイント低下した。売上額判断D.I.の前年同期比は18.9、収益判断D.I.の前年同期比は12.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲37.8となり、前期実績から変わらず、依然として人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は12.4と今期実績から10.9ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は12.2、予想収益判断D.I.は▲6.7となり、それぞれ今期実績から2.2ポイント、4.5ポイント低下する見通しとなっている。

## 〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	25.6	23.3	12.4	販売価格(前期比)	12.2	12.4	9.0
売上額(前期比)	27.8	14.4	12.2	仕入価格(前期比)	34.4	41.1	30.0
売上額(前年同期比)	27.8	18.9	—	資金繰り(楽-苦)	10.0	10.0	4.4
収益(前期比)	23.3	▲2.2	▲6.7	人手不足(過剰-不足)	▲37.8	▲37.8	▲34.4
収益(前年同期比)	23.3	12.2	—				

## ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は▲5.4となり、前期実績と比して2.0ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲12.5、収益判断D.I.は▲12.5となり、前期実績と比してそれぞれ31.0ポイント、29.2ポイントと大幅に低下した。売上額判断D.I.の前年同期比は17.9、収益判断D.I.の前年同期比は10.7となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲23.2となり、前期実績から1.0ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は0.0と今期実績から5.4ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は16.1、予想収益判断D.I.は7.1となり、それぞれ今期実績から28.6ポイント、19.6ポイント改善する見通しとなっている。

## 〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲7.4	▲5.4	0.0	販売価格(前期比)	20.4	10.7	12.5
売上額(前期比)	18.5	▲12.5	16.1	仕入価格(前期比)	31.5	19.6	26.8
売上額(前年同期比)	3.7	17.9	—	資金繰り(楽-苦)	0.0	▲16.1	▲7.1
収益(前期比)	16.7	▲12.5	7.1	人手不足(過剰-不足)	▲22.2	▲23.2	▲21.4
収益(前年同期比)	▲5.6	10.7	—				

### ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は▲12.5となり、前期実績と比して4.6ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲20.0、収益判断D.I.は▲27.5となり、前期実績と比してそれぞれ20.0ポイント、27.5ポイントと大幅に低下した。売上額判断D.I.の前年同期比は▲10.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲15.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲35.0となり、前期実績よりも4.0ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は2.5と今期実績から15.0ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲7.5、予想収益判断D.I.は0.0となり、それぞれ今期実績から12.5ポイント、27.5ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲17.1	▲12.5	2.5	販売価格(前期比)	17.1	0.0	10.0
売上額(前期比)	0.0	▲20.0	▲7.5	仕入価格(前期比)	34.1	27.5	17.5
売上額(前年同期比)	▲9.8	▲10.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲26.8	▲17.5	0.0
収益(前期比)	0.0	▲27.5	0.0	人手不足(過剰-不足)	▲39.0	▲35.0	▲37.5
収益(前年同期比)	▲14.6	▲15.0	—				

### ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は5.6となり、前期実績と比して5.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は11.3、収益判断D.I.は7.0となり、前期実績と比してそれぞれ13.7ポイント、13.8ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は22.5、収益判断D.I.の前年同期比は12.7となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲69.0となり、前期実績よりも3.7ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は8.5と今期実績から2.9ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は12.7、予想収益判断D.I.は9.9となり、それぞれ今期実績から1.4ポイント、2.9ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	11.1	5.6	8.5	販売価格(前期比)	11.1	7.0	11.3
売上額(前期比)	25.0	11.3	12.7	仕入価格(前期比)	31.9	28.6	24.3
売上額(前年同期比)	19.4	22.5	—	資金繰り(楽-苦)	0.0	▲7.0	▲14.1
収益(前期比)	20.8	7.0	9.9	人手不足(過剰-不足)	▲65.3	▲69.0	▲67.6
収益(前年同期比)	13.9	12.7	—				

### ○今期の景況

今期の業況判断D.I.は24.1となり、前期実績と比して2.3ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.が18.5、収益判断D.I.が1.9となり、前期実績と比してそれぞれ15.5ポイント、15.1ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は11.1、収益判断D.I.の前年同期比は7.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲46.3となり、前期実績から6.5ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は25.9と今期実績から1.8ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は16.7、予想収益判断D.I.は11.1となり、今期実績と比して予想売上額判断D.I.は1.8ポイント低下、予想収益判断D.I.は9.2ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	26.4	24.1	25.9	販売価格(前期比)	17.0	5.6	9.3
売上額(前期比)	34.0	18.5	16.7	仕入価格(前期比)	41.5	32.1	34.0
売上額(前年同期比)	9.4	11.1	—	資金繰り(楽-苦)	15.1	3.7	1.9
収益(前期比)	17.0	1.9	11.1	人手不足(過剰-不足)	▲52.8	▲46.3	▲48.1
収益(前年同期比)	17.0	7.4	—				

### ○今期の景況

今期の業況判断D.I.は17.0となり、前期実績と比して3.0ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は25.5、収益判断D.I.は21.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は1.2ポイント低下、収益判断D.I.は3.5ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は21.3、収益判断D.I.の前年同期比は19.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲31.9となり、前期実績よりも3.0ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

### ○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は17.0と今期実績と同じ見通しとなっている。予想売上額判断D.I.は2.1、予想収益判断D.I.は0.0となり、それぞれ今期実績から23.4ポイント、21.3ポイントと大幅に低下する見通しとなっている。

#### 〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	20.0	17.0	17.0	販売価格(前期比)	15.9	19.6	10.9
売上額(前期比)	26.7	25.5	2.1	仕入価格(前期比)	27.9	35.6	28.9
売上額(前年同期比)	28.9	21.3	—	資金繰り(楽-苦)	20.0	12.8	12.8
収益(前期比)	17.8	21.3	0.0	人手不足(過剰-不足)	▲28.9	▲31.9	▲29.8
収益(前年同期比)	24.4	19.1	—				



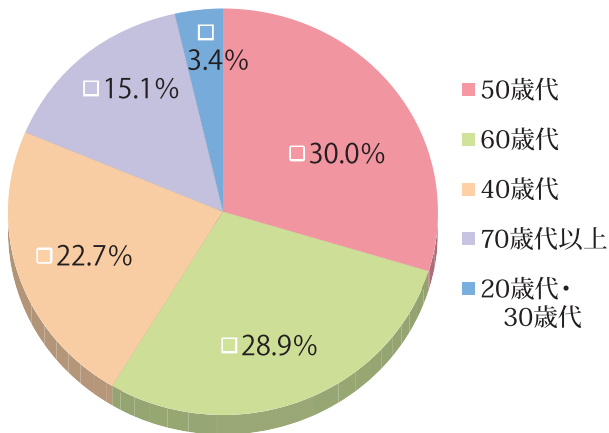
## 特別調査：経営者の健康管理と事業の継続について

### ～経営者の年齢階層と代について～

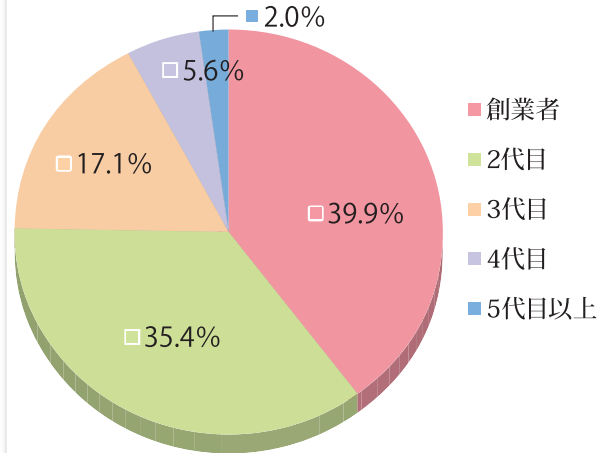
経営者の年齢階層について、「50歳代(30.0%)」と回答した企業が最も多く、次いで「60歳代(28.9%)」、「40歳代(22.7%)」、「70歳代(15.1%)」、「20歳代、30歳代(3.4%)」となった。「50歳代(30.0%)」と「60歳代(28.9%)」の合計が58.9%となり、50歳代、60歳代の経営者が半数以上を占める結果となった。

また、経営者が何代目であるかについては、「創業者(39.9%)」と回答した企業が最も多く、次いで「2代目(35.4%)」、「3代目(17.1%)」、「4代目(5.6%)」、「5代目以上(2.0%)」となった。

社長(代表者)の年齢階層



社長(代表者)の代

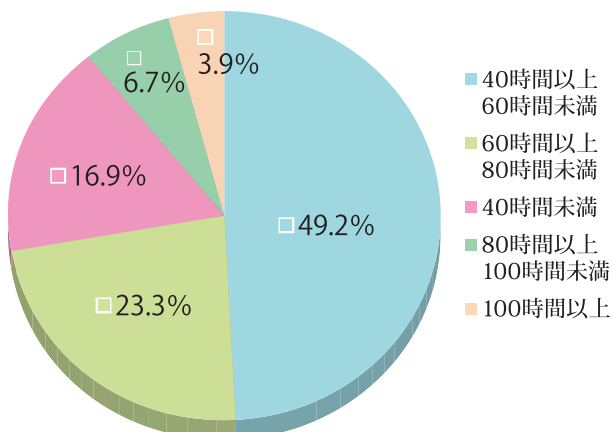


### ～経営者の健康について～

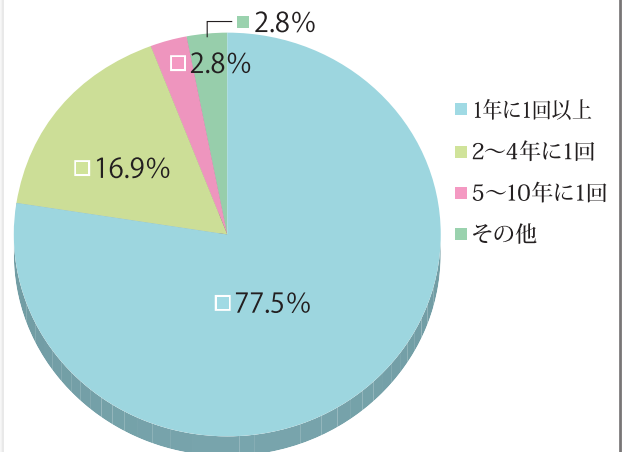
経営者の先月の労働時間(1週間あたり)について、「40時間以上60時間未満(49.2%)」と回答した企業が最も多く約半数を占め、次いで「60時間以上80時間未満(23.3%)」、「40時間未満(16.9%)」、「80時間以上100時間未満(6.7%)」、「100時間以上(3.9%)」となった。「80時間以上100時間未満(6.7%)」と「100時間以上(3.9%)」の合計が10.6%となり、経営者自身が80時間以上の長時間労働をしている企業が1割を占めた。

また、経営者の健康診断を受ける頻度について、「1年に1回以上(77.5%)」と回答した企業が最も多く、次いで「2～4年に1回(16.9%)」、「5～10年に1回(2.8%)」、「その他(10年以上受けていない、受けたことがない)(2.8%)」となった。

1週間あたりの労働時間



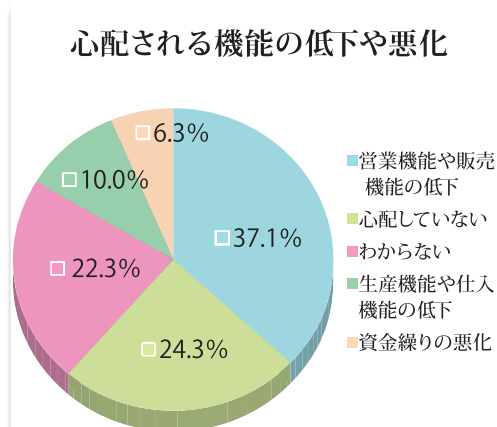
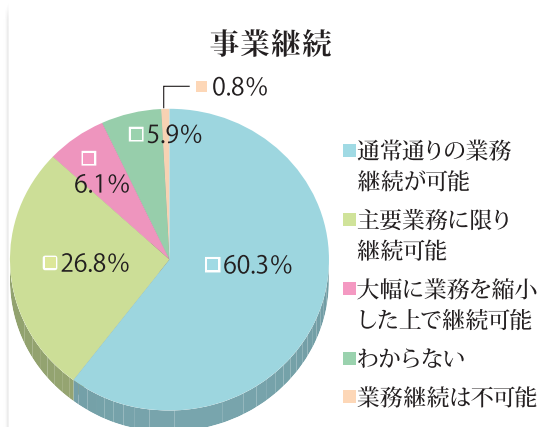
健康診断を受ける頻度



## ～業務継続について～

経営者の1ヶ月間の休養に伴う業務継続については、「通常通りの業務継続が可能(60.3%)」と回答した企業が最も多く、「業務継続は不可能」と回答した企業はわずか0.8%となった。

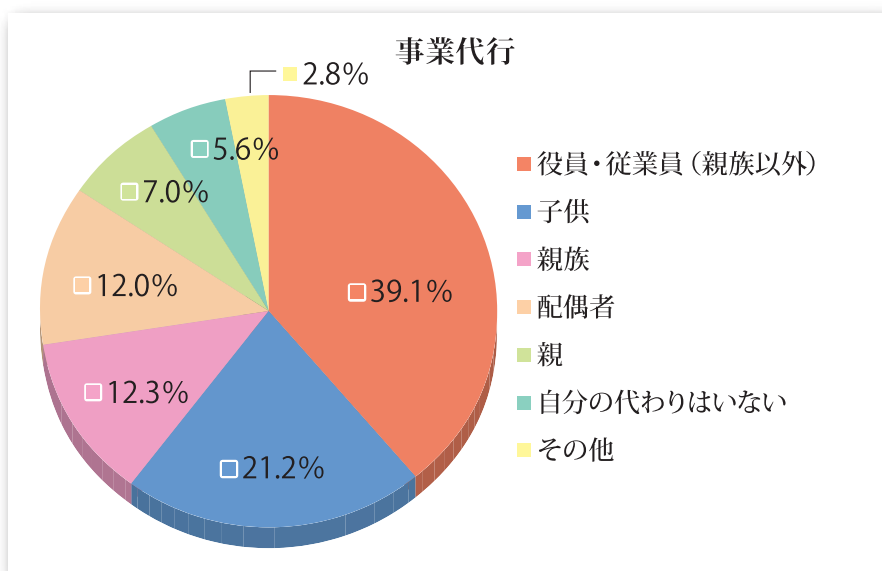
また、休養中の自社の機能の低下や悪化については、「営業機能や販売機能の低下(37.1%)」と回答した企業が最も多く、次いで「心配していない(24.3%)」、「わからない(22.3%)」となった。



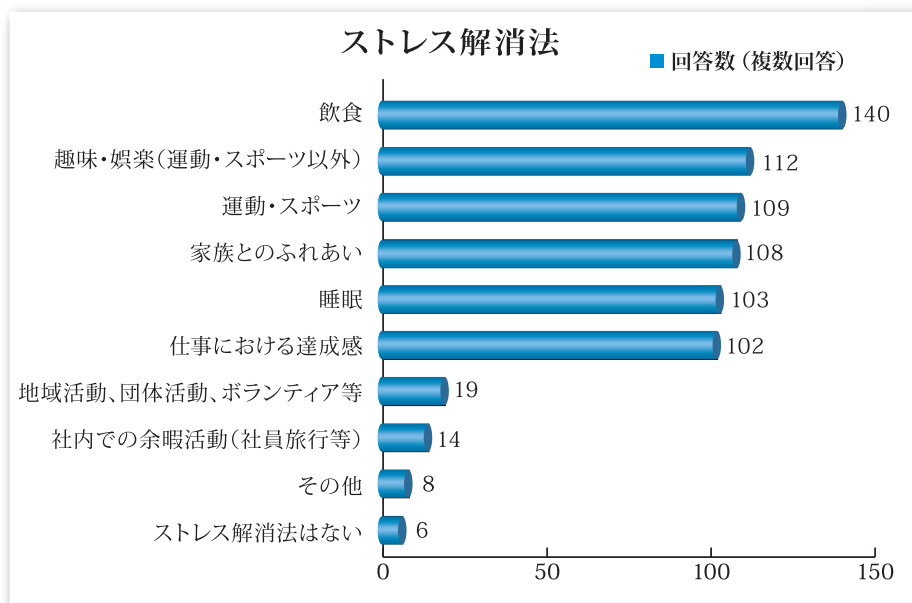
## ～事業代行について～

経営者の1ヶ月間の休養に伴う事業代行については、「役員・従業員(親族以外)(39.1%)」と回答した企業が最も多く、次いで「子供(21.2%)」、「親族(12.3%)」、「配偶者(12.0%)」、「親(7.0%)」となり、代行者がいると回答した企業の合計が91.6%となった。

「自分の代わりはいない(5.6%)」、「その他(2.8%)」と、代行者がいないと回答した企業の合計は8.4%となった。また、「休廃業するから代わりは必要ない」と回答した企業はなかった。



## ～ストレス解消法について～



経営者のストレス解消法については、「飲食」と回答した企業が最も多かった。次いで「趣味・娯楽」、「運動・スポーツ」、「家族とのふれあい」、「睡眠」、「仕事における達成感」がほぼ同等の回答数となった。

「ストレス解消法はない」との回答が一番少なく、多くの経営者がストレスを解消するための方法を持っている結果となった。

## イベント関連

### ●経営に役立つ少人数制のセミナーを実施します！

当庫のお客様向けに以下のとおり経営に役立つ少人数制セミナーを実施します。  
詳しくはお取引店までお問合せください。

#### ■「ローカルベンチマークを活用した経営の自己診断」参加費無料

- ①日 時:平成30年 5月15日(火) 14:30~16:30  
②日 時:平成30年 5月23日(水) 14:30~16:30  
場 所:日新信用金庫 神栄支店7階 場 所:日新信用金庫 本店8階 ※各会場定員8社

#### ■「知的資産(見えざる強み)を見える化して経営力を高める」全4回 参加費無料

- 1回目 平成30年 6月26日(火)13:00~17:00 ●3回目 平成30年 8月 7日(火)13:00~17:00  
●2回目 平成30年 7月10日(火)13:00~17:00 ●4回目 平成30年 9月18日(火)13:00~17:00  
場 所:日新信用金庫 本店8階 ※定員5社

#### ■「雇用関係助成金セミナー」参加費無料

人口減少・少子高齢社会などの影響により、中小企業における人材獲得・育成は重要な経営課題になって  
います。これからの時代、持続可能なビジネスモデルを確立していくための人事戦略として、厚生労働省所管  
の中小企業向け雇用関係助成金を上手く活用してみませんか。労働局助成金センターで事業主支援アドバ  
イザーを務めた社会保険労務士が、主な助成金制度についてわかりやすく説明いたします。

- 日 時:平成30年 7月9日(月) 14:00~16:00  
場 所:日新信用金庫 本店8階 ※定員50社

## 商品関連

- キャンペーン商品としてお取り扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。


- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)



このたびは、第8回中小企業景気動向調査にご協力いただき  
まして誠にありがとうございました。  
調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、  
下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク  
 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで